

ボランティアの声 ボランティア合計人数：92人



### ～ボランティアをして 感じたこと～

- いろいろなブースの写真を撮らせてもらう時に、様々な世代や国籍の方と関わりました。
- 内容が充実していて楽しめた。
- ボランティアの仕事はちゃんとしたけど、学ぶことがまだまだいっぱいです。
- World festaってこんなに大きなイベントだとびっくりした。すごいと思いました。
- 久々の再会や初対面でも沢山のひと々と仲良くなれて良かった。
- たくさんのボランティア関係者の方々とお話できたのがとても良い経験になりました。
- 初めてエコの仕事をして自分が成長させてもらいました。



参加団体の声 参加団体：62団体

### 【東北インターナショナルスクール】

新しく建設された展示棟での開催となりましたが、開催場所がまとまっていることもあり、とても見やすく、より世界各国のブースを楽しむことができました。スタッフの皆様もとても親切で、場内をスムーズに見学できました。ごみの仕分けも徹底しておりました。



### 【NPO法人地球のステージ】

1つの会場に全てのブースが入ったことで、来場者の方には全てのブースをまわりやすくなったのではないかと思います。今年は老若男女、国籍を超え、様々な方にお立ち寄り頂けたと思います。



### 【宮城青年海外協力協会】

場所などが変わっての地球フェスタということで、どうなるんだろうとワクワクしていました。フェスタ全体の雰囲気が共有できる、より一体感のあるフェスタでした。



～フェスタを支えてくださった団体の皆様、  
ご協力ありがとうございました～

- ＝助成＝  
公益財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金
- ＝協賛＝  
空調企業株式会社、仙台市日中友好協会、  
インド料理ザムザム(ハラール)、認定NPO法人IVY、  
スマッシュショット仙台、宮城県ユニセフ協会
- ＝後援＝  
仙台市

- ＝参加団体＝  
アイセック仙台委員会  
ICYEジャパン  
認定NPO法人 IVY  
アミラン株式会社  
アメリカ家庭料理モンタナ  
インド料理ザムザム(ハラール)  
ACE仙台グループ  
オーボン フェルマン  
オリエンタルダイニングバーMiddle Mix  
カチエンニウム ソムワン  
環境サークル-EVOL-  
言語交流研究所ヒップファミリークラブ  
公益財団法人AFS日本協会宮城支部  
公益財団法人 仙台観光国際協会(SenTIA)  
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)  
公益社団法人仙台ユネスコ協会  
公益社団法人長寿社会文化協会  
在日大韓民国国民宮城県地方本部  
在日大韓民国婦人会宮城県地方本部  
在日大韓民国青年会宮城県地方本部  
サリュレンヌの会  
ザンジバル ピラフ  
CEA in SENDAI  
シャプラニール仙台・ポンドゥの会  
ストリートチルドレン芸術祭  
スラブ料理アジアンカ  
スリランカフォーラム宮城  
仙台エスペラント会  
仙台サンバクラブ  
仙台JOCS(海外医療協力会)  
仙台中国ヤンコ踊りチーム  
仙台市日中友好協会  
仙台ベトナム学生・青年協会  
仙台ボランティア英語通訳ガイド GOZAIN  
仙台リバイサイド交流連絡会  
DAMAYAN  
ダルハン文化  
Dance Mix-e  
地球の子ども通信  
チリ支援友の会  
東北インターナショナルスクール  
東北大学国際交流支援サークル @home  
東北大学留学生協会TUFSA  
東北・仙台フィジィ共和国経済文化交流協会  
特定非営利活動法人アマニ・アフリカ  
特定非営利活動法人 地球のステージ  
独立行政法人 国際協力機構東北支部 (JICA東北)  
ナンタンドリ(ハラール)  
一般財団法人日本国際航路対策機構  
日本ユーラシア協会 宮城県連合会  
バンタイランナー  
ピースナッツ  
宮城学院女子大学国際支援活動Triangle  
みやぎ行政事務研究会  
宮城県日中友好協会  
宮城県ユニセフ協会  
宮城青年海外協力協会  
宮城青年国際交流機構(宮城IYEO)  
宮城善通訳者の会  
有限会社ル・マンジェ  
RAKUGO会  
財務大臣・中央銀行総裁会議準備室



# せんだい 地球フェスタ 2015



## ～報告書～

日時  
2015年10月25日(日)  
10:00～16:00  
会場  
仙台国際センター展示棟



"Peace everywhere"  
～たくさんの平和～



### せんだい地球フェスタ実行委員会：

石川峻喜 内藤詩音 石原輝 菅野万寿美 金亜貴 佐々木賢太 加藤遥 小原峻 伊藤さつき 中島由美 須藤伸子  
HP | <http://senfes2015.jimdo.com/> Facebook | <https://www.facebook.com/SendaiWorldFesta>

事務局：(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10 仙台青葉ウィングビルA棟11階 TEL:022-268-6260 FAX:022-268-6252

多文化共生、国際交流、国際協力の活動をしている団体が仙台国際センターに集まり、歌や踊り、世界の食べもの、体験ワークショップなどを行う「せんだい地球フェスタ」も今年で24回目の開催となりました。  
今年のテーマは「"Peace everywhere"～たくさんの平和～」  
11人の実行委員がテーマに即して数か月にわたり準備を進めました。  
当日は62の参加団体、92人のボランティアがフェスタを盛り上げ、およそ4,000人の市民に会場いただきました。

## 実行委員長のメッセージ



実行委員長 石川 駿喜

おぼつかない手つきの子供たちや、何年ぶりに折ったのだろうか〜と泣きながら折鶴を作る大人の方々の姿や光景が、フェスタを通して完成した折鶴のパネルを見てみると、目の前に広がってきます。今回、フェスタに参加する方々と「平和」について考え直す場を持ちたいと思い、実行委員会そして事務局の方々と一緒に企画を進めてきました。その一つに、折鶴を折っている時間を平和への想いを馳せる時間にしてもらおうと意図した折鶴パネルの企画があり、閉会式で完成した作品を披露した時に起こった歓声は強く心に残っています。また会場では、華やかなステージパフォーマンスや元気あるブースの人々、楽しみながら活動するボランティアのみなさんがいて、来場者のみなさんとともに笑顔あふれるフェスタになったことを、とても嬉しく思います。このような成果を得られたのも、全てはフェスタを支えてくれた方々のおかげで、本当に感謝しており、共に活動できたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。

## メイン会場の様子

今年のフェスタは、これまでの仙台国際センター会議棟から場所を変えて、平成27年4月にオープンした展示棟ではじめての開催となりました。

お昼時には、世界の料理を楽しむ人たちがいっぱい!



例年と違って、メインホールが一つのみということでしたが、思ったよりもお客さんが密集しているという印象も受けず、移動も楽でした。親子での来場も多いかと思いますが、親子で見たいところも違うと思います。メイン会場がひとつであることで、多子供から目を離しても安心していられたのではないかなと思います。また、子供メインのブース(世界の遊びなど)もあることで、お子さんが主役になって楽しめる内容があるのはとても嬉しいです。ステージ発表としては、メイン会場がひとつであることから音や声が聞こえれば自然と耳が向きやすく、観客もわざわざ見るために場所を移動する必要もないので、とても観賞しやすい環境だったと思います。

子どもたちに大人気! 外国の絵本のおはなし会



ステージチーム 金 亜貴



## ドキュメンタリー映画『ハーフ』上映会



### 来場者の声

5人の「ハーフ」たちがかつて単一民族と言われてきた国において、多文化・多民族であるとは、どういふことなのかを探求する日々を追ったドキュメンタリー映画『HAFU (ハーフ)』を上映しました。映画では、主人公であるハーフたちの生い立ちや、家族の関係、教育など彼らの体験が語られています。

○素晴らしい人々に感動。各々多様な苦労があることも再確認。エネルギーと心が聞かれる感じ。なるべく多くの人が見られる機会があればいいと思う。  
○私は日本人です。だけど、「私は何?誰?」を考えるんです。そんな私にハーフの方の言葉と行動が光を差してくれた映画でした。そして「日本人はゆっくり、焦ってはいけない」という矢野さん(映画の登場人物)の言葉が一番ひびきました。  
○映画の中にもあったが、私の中に日本人、外国人の2つの種の概念しか持たなく、Mix Rootsという人々に対する考え方、受け入れ方を今後持っていかなければいけないと感じた。

## ワークショップ体験

世界で起こる様々なことについての気づきや、世界と自分とのつながりを考える体験の場として、開発教育ワークショップを開催しました。

【プログラム】

- ①世界がもし100人の村だったら
- ②世界一大きな授業



ワークショップチーム 千葉 彬人

## 実行委員会「平和企画」 〜おりづる制作〜

今年の地球フェスタのテーマ「Peace everywhere〜たくさんさんの平和〜」の企画として、来場者の方々に、おりがみで鶴を折っていただきました。折っていただいた折鶴は、世界地図の下絵に直接貼り付け、最終的に世界地図の貼り絵を完成させました。鶴を折っていただくことを通して、数千人の来場者が自分たちの国や地域、日本、そして世界の平和について考える日となりました。この貼り絵は、この後、広島市の「原爆の子の像」(広島平和記念公園内)へ捧げました。



企画チーム 和泉いづみ



完成!



最後の最後までクロージングに間に合わないのではないかと不安でしたが、ブースに立ち寄ってくださった来場者の方々、フェスタのスタッフ、いろんな方のご協力のもと完成させることが出来ました。「折り鶴をはじめ折る」と話してくれた子供たち、外国の方、「久しぶりだからうまく折れるか不安だね。」と話してくれたご年配の方々の折り終えた時の笑顔が忘れられません。せんだい地球フェスタには、私が高校生の時、一度だけお客さんとして参加したことがあります。あの時から変わらない、あったかい雰囲気、今年こうしてスタッフとして参加できたことをとても嬉しく思います。

## 外国人による「たのしく日本語トーク!」

楽しいトリオ賞



今年の日本語弁論大会は、テーマを「あなたが感じる“ピース(PEACE)”なひととき」として、漫才やリレー形式など、グループでの参加も可能な自由なスタイルで発表してもらいました。



日本での滞在歴、日本語の習熟度もさまざまな出演者が、それぞれの持ち味を生かしたパフォーマンスをして下さいました。楽しく、おかしく、また、日本人には気づかない視点からのスピーチに感心させられたり……。審査をしていますが、とても楽しかったですし、みなさんの一生懸命な姿は感動的でもありました。このような形のコンテストでしたら、外国籍の方々も参加しやすいですし、観客のみなさまにも、伝わるものが多いような気が致します。

審査員 板橋 恵子さん (Date fm DJ・パーソナリティ)

## フィリピン台風・ネパール地震 報告会



今年のフェスタでは、フィリピンとネパール支援の報告会も行いました。2013年11月のフィリピン・タクロバンでの大型台風と、2015年4月ネパールの首都カトマンズを襲った大地震。当時、仙台に住むフィリピンやネパールの人たちが中心となり街頭募金やチャリティイベントを行いました。多くの仙台市民が支援をし、その思いは現地に届けられました。今回は、それぞれの支援活動と国の現状について、在仙のフィリピン人グループ(DANAYAN & THE KAPATIRAN)、ネパール人グループ(Nepsa)が報告してくれました。



ネパール地震報告会の様子